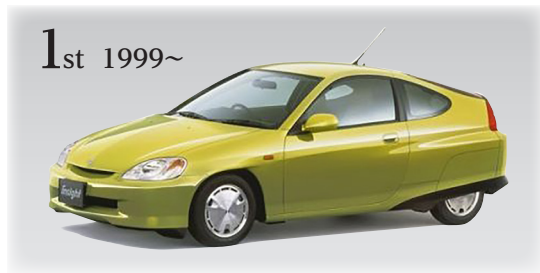


燃費世界一への挑戦から生まれたインサイトは、 魅力世界一のミドルセダンへと進化する。

1997年の東京モーターショーにおいて、Hondaはコンセプトカー「J-VX(バリューX ライトスポーツ)」を出品しました。独自のハイブリッド技術「ホンダIMAシステム」を搭載したコンセプトカーは、2年後、世界最高の超低燃費35km/L*1を達成した「インサイト」として結実。環境車の黎明期にハイブリッド技術の可能性を世界に示しました。2009年発売の2代目では、189万円*2からという「お求めやすい価格」を実現し、ハイブリッド車として初めて登録車月間販売台数第1位*3となるなど高い評価を獲得。

環境車の普及促進に大きな役割を果たしてきたのです。ハイブリッド車が当たり前となった現在、優れた環境性能は、もはや、クルマがそなえるべき基本的価値です。環境車のさらなる普及には、クルマとしての本質的な魅力が重要だと、Hondaは考えます。そうした考えから、Hondaはインサイトを世界的に人気が高いミドルクラスのセダンへと進化させました。新たなステージに挑戦する新型インサイトに、どうぞご期待ください。



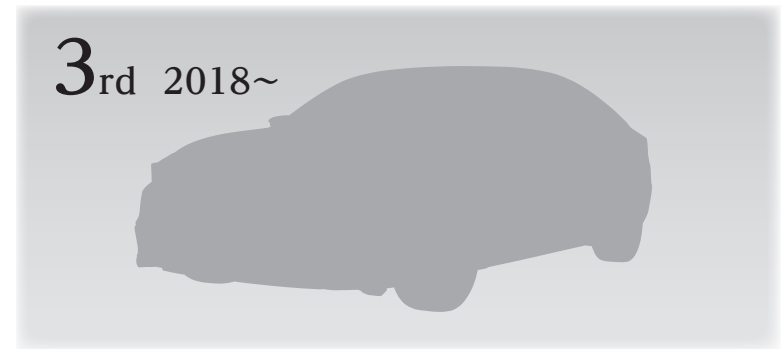
1st 1999~
燃費世界一*1を達成したパーソナルハイブリッドカー
独自のハイブリッド技術「ホンダIMAシステム」を軽量なアルミボディに搭載し、世界最高燃費を達成した2人乗りのパーソナルハイブリッドカー。軽量コンパクトなハイブリッドシステムが、「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー」を7年連続受賞するなど、世界的に高い評価を獲得しました。

- 2000年度「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー」受賞、2000~2006年度「同・1リッター未満部門賞」7年連続受賞(英・エンジン・テクノロジー・インターナショナル誌)
- 2000年「地球気候保全賞」受賞(米国環境保護庁)
- 平成12年度「省エネ大賞」の「資源エネルギー庁長官賞」受賞(財団法人省エネルギーセンター)



2nd 2009~
お求めやすい価格を実現した「みんなのハイブリッド」
進化したIMAシステムをコンパクトな5ナンバーサイズのボディに搭載し、お求めやすい価格を実現した5人乗り5ドアハッチバック。「みんなのハイブリッド」をキャンペーンテーマに環境車の普及促進に大きく貢献しました。

- 2009-2010 日本自動車殿堂カーオブザイヤー受賞(特定非営利活動法人 日本自動車殿堂)
- 2009年度グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)受賞(財団法人 日本産業デザイン振興会)
- 2010年次RJCカーオブザイヤー受賞(NPO法人 日本自動車研究者・ジャーナリスト会議)



3rd 2018~
クルマとしての本質的な魅力を追求し
世界的に人気が高いミドルセダンへと進化

*1 10・15モード、5速MT車。Honda調べ。 *2 Gタイプ。全国メーカー希望小売価格。消費税込み。 *3 2009年4月度。自販連調べ。